

令和4年度 「地震ハザード評価の国際展開に関するワークショップ」

開催案内

国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、「防災科研」）では地震ハザード評価研究の国際展開に取り組んでおり、その一環として、国際 NPO 組織 Global Earthquake Model（以下、GEM）の運営委員会のメンバーとして日本代表機関として参画するとともに、日本の地震ハザード評価モデルを提供し、GEM およびアジア地域のパートナーとの協働により世界地震ハザードマップの高度化に資する活動を行っています。

GEM では世界の地震ハザード・リスク評価の高度化に向けた継続的な取り組みを行っており、GEM の国際的なプラットフォーム上で発信される日本の地震ハザード評価モデルは、他の地域のモデルとともに、諸外国の産業分野でも活用されています。

今回防災科研では、防災科研のハザード評価モデルを利用または参照している各分野の皆さまを対象として、GEM の活動ならびに GEM を通じて発信される世界各地の地震ハザード評価に関する情報やその動向を理解するとともに、日本国内におけるそれらの情報の活用方法について意見交換することを目的として、ワークショップを開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が懸念されますが、国または東京都からの行動制限が出されない限り、感染予防対策を施し、原則対面での開催としております。なお、オンライン参加も可能ですので、ご希望の場合は事務局までお問い合わせください。

謹白

＜連絡問い合わせ先＞

特定非営利活動法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会

- ・事務局 : 上村 良澄 大崎 雄二
- ・e-Mail : reic_jimukyoku@reic.or.jp
- ・電話番号 : 03-5829-6368 FAX 番号 : 03-3865-1844

……………< 開催要領 (案) >……………

日時 : 令和5年2月10日(金曜日) 13時30分～17時 (予定)
場所 : 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 東京会議室
(東京都港区西新橋 2-3-1 マークライト虎ノ門 6階) 別添地図参照

【 次 第 案 】

13:30～13:40 開会の挨拶

国立研究開発法人防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門 部門長 藤原 広行

13:40～14:40 GEMの活動状況について(進行 岩城 麻子)

- Activity of GEM
John Schneider (GEM Secretary General)
- GEM collaboration with Japan and other regions in the world
Marco Pagani (GEM Seismic Hazard Coordinator)

14:40～14:55 日本の地震ハザードモデルの現状

国立研究開発法人防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門 森川 信之

14:55～15:10 OpenQuakeにおけるJ-SHIS地震ハザードモデル

国立研究開発法人防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門 はお 憲生

15:10～15:30 休憩

15:30～16:55 議論・意見交換(進行 岩城 麻子)

- 産業界からGEMに期待すること
- 今後の活動・勉強会の立ち上げについて

16:55～17:00 閉会の挨拶

国立研究開発法人防災科学技術研究所
マルチハザードリスク評価研究部門 部門長 藤原 広行

以上